

平成 29 年度 第 1 回学校運営協議会会議録

神奈川県立相原高等学校

司会 教頭 記録 学校運営グループ総括教諭

日 時 平成 29 年 7 月 18 日 (火) 15 時 30 分～16 時 50 分
場 所 相原高等学校会議室

1 出席者自己紹介

2 校長あいさつ

「コミュニティ・スクール」の指定を受け、学校運営協議会を発足しました。学校・保護者・地域住民等で、学校運営に参画・協働し「地域とともにある学校づくり」を進めます。

学校運営協議会には、「1. 学校運営に関して、教育課程の編成等校長が作成する基本的な方針の承認を行う。」「2. 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べる。」「3. 教員の任用に関して教育委員会に校長を経由して意見を述べる。」以上の3つの機能があります。本日は学校運営の基本方針への承認をお願いします。

ご意見をいただき結果を公表します。議事録を一週間後に HP に載せます。

まず、会長・副会長の選出を行います。会長に原様 副会長に佐藤様にお願いします。

平成 30 年秋頃、高校改革 2 期が発表されます。相原高校では普通教科の基礎基本をしっかりと身につけ、その上に専門の内容を積み上げ、生徒一人一人の進路希望を実現していくこと、専門教育の充実・魅力の発信を、考えていかなければなりません。

相原高校は、平成 31 年度に移転予定です。現在の予定では、平成 31 年 1 月に新校舎が完成し、移転は平成 29 年度入学生が高校 3 年生の時となります。

3. 学校より

①グランドデザイン、学校教育計画について (室井) <学校要覧 P 10～13 参照>

P10 グランドデザインについて

P11 学校教育計画・4 年間の目標 主な方策

P13 平成 28 年度学校評価報告書

P12 目標設定

承認された。

《評価部会》

校長・・・今年度からの新たな取り組みについて

・基礎力診断テストを導入

入学時の生徒の学力の幅が広いが、生徒がそれぞれ自身の足りない部分を把握して必要に応じ「学び直し」を、学力の高い生徒はより高みを目指せるよう、学力等数値化し、学習指導・生活指導に活用し、全生徒の学力アップ、進路選択の幅を広げることを目指す。

・専門教育の充実・・・最先端の知識・技術を学ぶため、専門学校の先生による出前授業を実施。

意見交換

(質問 1) 臨任の職員が多いが、年度末に空白の期間が生まれ、学校経営上マイナスではないか。

(校長) 空白期間は以前に比べ短くなっている。農業科での採用が始まり、欠員臨任は減少の方向である。臨任職員が本採用となると、他校で新採用となるのが残念。

(質問 2) 専門教育の充実のための出前授業は前年度からの計画となると思うが、どのように計画しているのか。

(校長) 既存の授業の中で、出前授業を設けている。

(質問3) 義務教育の内容を理解していない、基礎学力不足の生徒に補習は行っているのか。

(校長) 現在、組織的な対応は行っていない。職員が個々に補習等行っている。基礎学力診断テストの結果を踏まえ、今後は組織的な補習を行う体制を整えたい。

(質問4) 部活動加入率は、県下の平均と比較しどうか。

(校長) 一般的な部活動加入率を考えると他校を下回っている。しかし、商友会・農業クラブなど本校独自の専門教育活動を含めると、高いと考えられる。

《地域連携部会》

副校長・・・今年度の地域貢献活動計画は、学校運営協議会資料 P21、22 に記載している。
今後も、地域連携・貢献をますます進めていきたい。ご意見、ご提案、事例の紹介等お願いしたい。

意見交換

(質問5) 自治会として、お祭りの参加等地域との関わりは、みてとれる。
各種販売活動の時間帯は変更等できないか。すぐに終わってしまうようだが、もう少し長く行ってもらいたい。それだけ人気があるということだが。

(校長) 生徒の活動時間で行っている。移転後も販売活動の継続を考えている。

(質問6) 移転後の施設はどのようになるのか

(校長) 敷地は、現在より 2 h a 広がる。新しい施設となることで販売品目の増加、レストランの営業など新たな試みが可能となる。移転先では臭い等の心配がされているが、地域の方々に喜んでもらえるような活動をこれまで以上に行いたい。

(質問7) 移転後もこれまでのように小学生の体験活動を受け入れてもらえるか。

(校長) 現在より広いスペースが確保できるので、これまで以上に活用していただきたい。

(意見1) 地域の子どもたちが通う中学校からみると、高等学校での地域連携の難しさを感じる。
学力だけでなく生活文化も二極化が進み、補習や個別支援教育など中学校でも課題となっている。

(校長) 移転後の施設では、これまでにない G A P など新たな認証を受け、生徒の活動の幅が広がる。成功体験を積み上げ、自己肯定感を高め、特に食の安全について学び社会に貢献できる人物として成長してもらいたい。

(意見2) 各種認証や更新には予算が必要だが、予算的なしわ寄せが心配である。

(校長) 100%農林水産省の補助と聞いている。

(意見3) 卒業後の進路について、就職希望者へは引き続き支援を行います。

(質問8) 同窓会として、クスノキは是非残してもらいたい。
防災計画について、広域避難所としてJR、京王電鉄との連携はとれているのか
七夕まつり等への生徒の参加引き続きお願いしたい。

(校長) クスノキについては、県から市へ残せるよう依頼している。
現在、相模原市の広域避難所となっているが、相模原市に打診し確認中

(意見4) クスノキは、「残す」か「移転」の方向で是非お願いしたい。

今後の予定の確認

第2回は、10月28日または、29日 「相陵祭」で生徒の活動の様子もご覧いただきます。

第3回は、3月に予定しております。近くなりましたら、ご連絡します。

以上をもって、16時50分、終了した。